

令和8年度 戸田市立笹目中学校業務量管理・健康確保措置実施計画 (笹目中学校における働き方改革について)

1 現状

- ・令和7年4月～12月の本校の教職員の時間外在校等時間の平均:35時間56分
- ・令和7年度の時間外在校等時間において360時間を超す教職員の割合:46.1%
- ・ストレスチェックの数値:「職場活性度(9+10+19)」:11.0(全体平均:10.5)
健康リスク A:全国平均値と同水準
健康リスク B:全国平均値よりとても良い
総合健康リスクの値:全国平均よりとても良い
- ・学校評価の数値:
 - ① 学校教育目標の具体化に向けて組織的に取り組んでいる。
100%(前年度より5ポイント上昇)
 - ② 校務分掌組織が効果的・組織的に機能している。98%(前年度より8%上昇)
 - ③ 働き方について見直すとともに、教育の質を落とさずに業務の効率化を図っている。
88%(前年度より14ポイント上昇)

2 目標

- ・全ての教職員が時間外在校等時間 月45時間以内、年360時間以内
- ・ストレスチェックの数値の継続及び上昇
- ・全ての教職員にとって、働きがいがあり働きやすい職場で、職務に専念する。

3 具体策

(1) 業務量管理について

- ・行事やその準備:校務分掌主任を中心とした組織的提案からの企画委員会の充実
FCEJ コンサルを受けての研究推進委員会の質の向上の伝播、プール清掃業者委託
- ・勤務の割振の効果的活用、・休暇等の確実な取得
- ・三分類を意識して週3回の清掃活動
- ・部活動の活動時間の工夫:できる限りの二人顧問制
- ・毎月21日を基準としたふれあいデー&定時退勤デー
- ・テスト日の採点特化デーは、ノー部活デー

(2) 健康確保措置について

- ・業務量の軽減(誰が見てもわかる分掌内容:1年間を見通した分掌把握、年数回に分けて校務分掌 A4 引継書の作成:R5年度～日課表変更の継続、市費職員(SSS等)の活用)
- ・面談、相談体制の確立(教職員の相談窓口:校内ハラスメント防止対策委員会の周知、必要に応じカウンセラーとの面談、風通しの良い職員室づくり、R5年度～継続の企業研修や R7年度～企業発信の団欒の場の継続)
- ・管理職による見届け(見る、聞く、繋ぐ)

(3) その他

- ・保護者・地域の理解促進(学校運営協議会の活用、働き方改革の内容の公表)
- ・生徒の自主性指導:R5～校則検討委員会の継続、学校運営協議会へのプレゼンと熟議